

会社の基本を知る

それぞれの運営上でのメリット・デメリット

導入

事業を始める際、会社形態ごとに設立時だけでなく、運営に関しても異なる特徴があります。

特に事業規模や成長計画に応じて、どの形態が最適かが変わります。

実際に株式会社、合同会社、個人事業主の運営上のメリット、デメリットを見ていきます。

株式会社の運営メリット、デメリット

メリット

- ・ 成長性が高い：株式を発行して大規模な資金調達が可能
- ・ 信用性が高い：大手企業や金融機関との取引で有利
- ・ 後継者への事業引継ぎが容易：株式を譲渡することでスムーズに継承出来る。

デメリット

- ・ 運営が複雑：取締役会の設置や株主総会など、厳格な運営ルールがある
- ・ コストがかかる：決算公告義務や税理士の費用が発生
- ・ 小規模事業には不向き：初期段階では利益に見合わない場合がある

合同会社の運営メリット、デメリット

メリット

柔軟な運営が可能：株主総会や取締役会の義務がなく出資者が直接意思決定できる

低コストで維持可能：決算公告義務がないため、運営コストが抑えられる

社員間の関係が緊密：出資者＝経営者の構造のため、チームで事業を進めやすい

デメリット

資金調達が難しい：株式発行ができないため、大規模な資金調達には向かない

信用力が低い場合がある：株式会社にくらべて知名度が低い形態

規模拡大時に制限がある：大規模展開を目指す場合、株式会社への移行が必要になることも

個人事業主の運営メリット、デメリット

メリット

運営が非常に自由：自分の判断で迅速に意思決定が可能

費用負担が少ない：記帳作業以外に特別な運営コストがほとんどない

事業規模に応じて調整可能：小規模事業で柔軟に対応できる

デメリット

規模拡大が難しい：資金調達や信用面で法人に劣る

税負担が増える場合がある：利益が増えると所得税の累進課税が重くなる

| 項目 | 株式会社 | 合同会社 | 個人事業主 |
|--------|----------------|------------|-------------|
| 成長性 | 高い（株式発行で資金調達可） | 中程度 | 低い（規模拡大に限界） |
| 運営の自由度 | 低い（厳格なルール） | 高い | 非常に高い |
| 信用性 | 高い | 中程度 | 低い |
| 維持コスト | 高い（決算公告義務有り） | 低い（コスト抑制可） | 非常に低い |
| 責任の範囲 | 有限責任 | 有限責任 | 無限責任 |

実際に考えてみよう

1

あなたの事業は、
どれくらいの規模
や成長を目指して
いますか？

2

日々の運営におい
て、どれくらい自
由度や柔軟性を求
めますか？

3

信用力や資金調達
の信用性をどの程
度重視しています
か？

まとめ

株式会社、合同会社、個人事業主のそれぞれの運営の特徴は理解できましたか。事業の規模や目標に応じたメリットとデメリットがあります。

自分の事業計画に合った選択をすることが、長期的な成功の基盤となります。

次回は、起業に必要なマインドセットについて説明していきます

宿題

自分の事業プランを基に、運営上の特徴を考慮して最適な事業形態を選び、その理由を簡単にまとめてください。